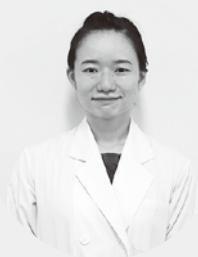


❖「身体拘束」について



添野医師

今回は、当院の常勤医師の添野祥子そえのしょうこ医師から「身体拘束」についてお知らせします。

平成29年8月に当院に赴任しました、内科の添野と申します。

さて私は病院での勤務のほか、県立医大の

大学院生として、高齢の患者さんに対する「身体拘束」について研究しています。1月24日のNHKクローズアップ現代でも取り上げられましたが、いま、医療現場ではご高齢の入院患者さんに対する身体拘束が大きな問題になっています。

身体拘束とは、転倒のリスクが高い方や「せん妄(入院生活で精神状態が不安定になり幻覚が出現する状態)」を発症した方に対し、転倒やケガをするのを防ぐため、手足をベッドなどに縛ったり、車椅子に縛りつけたりするものですが、現在、センサーマットの使用などで少なくする工夫をしています。

せん妄を防ぐためにやむを得ない場合、ご家族の付き添いや頻回のお見舞いをお願いすることもあります。その際はご協力をお願いします。

☎公立小野町地方総合病院 ☎72-3181

ふるさと納税にご協力ありがとうございます！

ふるさと納税にご協力いただき、誠にありがとうございます。

広報紙への掲載をご承諾いただいた方を、ご希望の使いみちごとに複数回に分けてご紹介します。ご寄付いただいた方は下記のとおりです。

寄付の申し込みがあった方は平成30年1月31日現在で735人、合計1,060万9千円です。今後も随時、寄付状況についてお知らせします。

☎企画政策課 ☎72-6939

■「子育て支援のため」にご寄付いただいた方  
福西 拓哉さん(東京都荒川区)

■「小野町の美しい里山風景を残すため」にご寄付いただいた方  
児玉 敬治さん(東京都品川区)

■「農業・工業・商業発展」にご寄付いただいた方(順不同)  
佐久間 昇さん(東京都江戸川区)  
児玉 敬治さん(東京都品川区)  
福西 拓哉さん(東京都荒川区)

■「まちづくり支援のため」にご寄付いただいた方(順不同)  
佐藤由里子さん(東京都杉並区)  
山内 理正さん(東京都狛江市)

